

う え だ 市議会だより

令和3年3月定例会
令和3年5月16日号

No.83



上田市議会Facebook



上田市議会Twitter

第2回表紙デザインコンテスト『議長賞』受賞作品
作品名：「げんきにすごせますように」
撮影者：柳沢 俊介さん

3月定例会の概要

令和3年度
予算

上田市議会“初”となる
「一般会計予算特別委員会」を設置して審査を実施し、
原案どおり可決

一般会計予算特別委員会とは…？

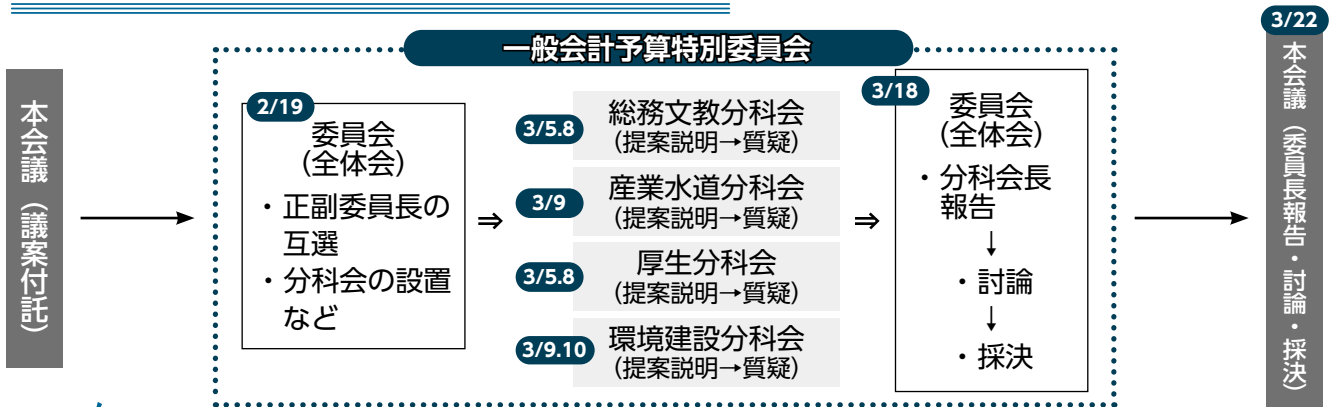
「一般会計当初予算」について審査を行う委員会です。

これまで一般会計当初予算に関する議案は各常任委員会に分割して付託し、審査を行ってまいりましたが、今定例会からは新たに「一般会計予算特別委員会」と各常任委員会を単位とする「分科会」を設置し、審査を行いました。



一般会計予算特別委員会

一般会計予算特別委員会審査の流れ



POINT

01 議長を除く全議員で 審査を実施

特別委員会（全体会）は議長を除く全議員で審査を行うため、全体的な視点から審査を実施することができます。

02 分科会で専門的な 審査を実施

分科会では、それぞれが所管する部局の予算について審査を行うため、専門的な審査を実施することができます。



▲総務文教分科会

目次

3月定例会の概要	2	23人の議員が市政を問う	8
常任委員会の審査概要	6	請願・陳情の審査結果	18
分科会の審査概要	7	表紙デザインコンテスト選考結果	20

会 期	2 / 19 から 3 / 22 まで (32 日間)
議案数	条例案13件、予算案23件、事件決議案4件、専決処分1件、人事案件6件 合計47件を全て可決、承認、同意または適任と決定
一般質問	23人の議員が一般質問を実施▶▶▶ 質問内容は8ページ以降に掲載

「一般会計当初予算」主な事業をピックアップ



予算の概要

令和3年度一般会計 当初予算の概要

予算額 693億5,600万円

<歳入の主な内訳> 市税196億円、28.4% / 地方交付税143億円、20.7%

<歳出の主な内訳> 民生費230億円、33.2% / 土木費92億円、13.4%

269万円

議会 ICT 化推進事業

市議会本会議の

インターネット中継を実施

\POINT/ インターネット中継は 9月定例会から 実施予定です。

議会
改革

4,219万円

総合収納システム整備事業

市税や保育料などの

キャッシュレス決済を 令和3年10月からスタート

\POINT/

キャッシュレス決済が可能になるもの→市県民税、保育料、住宅使用料、水道料金など
利用できるキャッシュレス決済サービス

◎電子マネーでの納付…PayPay、LINE Pay

◎クレジットカードでの納付…VISA、Master、JCB、American Express、Diners club

※水道局に関する支払いには、クレジットカードは使用できません。

サービス
向上

856万円

自主防災組織資器材 購入補助金

地域防災力の向上を図るため

補助上限額及び補助率を 令和2年度から4年度まで引き上げ

\POINT/ ■上限額 5万円 → 20万円 ■補助率 1/2 → 2/3

防災

1,925万円

民間保育所建設事業補助金

民間保育所（小規模保育）の施設整備に
対して補助を実施

子育て
支援

3,320万円
(債務負担行為)9,880万円

第五中学校改築事業

第五中学校改築に係る基本設計
委託料や実施設計委託料など



議案
補正予算
概要

経済対策や感染症対策などが計上された

令和2年度上田市一般会計補正予算(第11号)
令和3年度上田市一般会計補正予算(第1号)

可決



予算の概要

補正予算に計上された主な事業をピックアップ

1億5,460万円

旅館・ホテル業事業者宿泊
予約キャンセル等支援事業

詳細は、上田市ホーム
ページをご覧ください



売上が減少している

宿泊事業者へ支援金を給付

\ POINT /

支援内容 ※給付要件あり

→以下のいずれかを給付

- ①売上減少事業者に20万円
- ②キャンセル人数に1,000円を乗じた額が20万円を超える場合：20万円にその超えた額を加算した金額（上限額300万円）

経済
対策

2億1,620万円

飲食店等事業継続緊急
支援事業

詳細は、上田市ホーム
ページをご覧ください



売上が減少している

飲食店等へ支援金を給付

\ POINT /

支援内容 → 1事業者につき20万円

支援対象事業者 ※給付要件あり

→飲食業、観光業、バス・タクシー、運転代行業、
卸売業（一部）、小売業（一部）等

経済
対策

6,520万円

要介護者・障がい者等
感染拡大防止支援事業

詳細は、上田市ホームページを
ご覧ください



対象者一人当たり5千円を支給

在宅の要介護者や障がい者等に対し、感染症拡大防止の取り組みを支援するため、支援金を支給

感染症
防止

2,973万円

上田地域検査センター
運営事業

PCR検査を行う

地域検査センターを
引き続き設置

県からの委託を受けてPCR検査を行う「上田地域検査センター」を令和3年度も引き続き設置するもの

コロナ
対策

議案
補正予算
概要

新型コロナウイルスワクチン接種がスタート
令和2年度上田市一般会計補正予算(第9号)
令和3年度上田市一般会計補正予算(第2号)

承認
可決

新型コロナウイルスワクチン接種に関する経費が計上された一般会計補正予算について審議を行い、原案どおり「可決」しました。

また、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に関する予算について、令和3年2月5日に専

決処分を行ったことから、その内容について議会への報告が行われ、審議の結果、専決処分を「承認」しました。

なお、事業費は全額国の負担金、補助金を活用しています。

ワクチン接種体制確保事業 - ワクチン接種に必要な体制整備に関する費用 -

承認

事業費 8,730万円
(債務負担行為) 7,657万円

事業内容 ・接種券等の印刷、郵送費
・コールセンター業務委託料 など

ワクチン接種体制確保事業 - ワクチン接種に必要な体制整備に関する費用 -

可決

事業費 1億3,097万円

事業内容 ・予診票等の印刷、郵送費
・会場設営委託料、送迎バス運行委託料 など

ワクチン接種事業 - ワクチン接種に関する運営費用 -

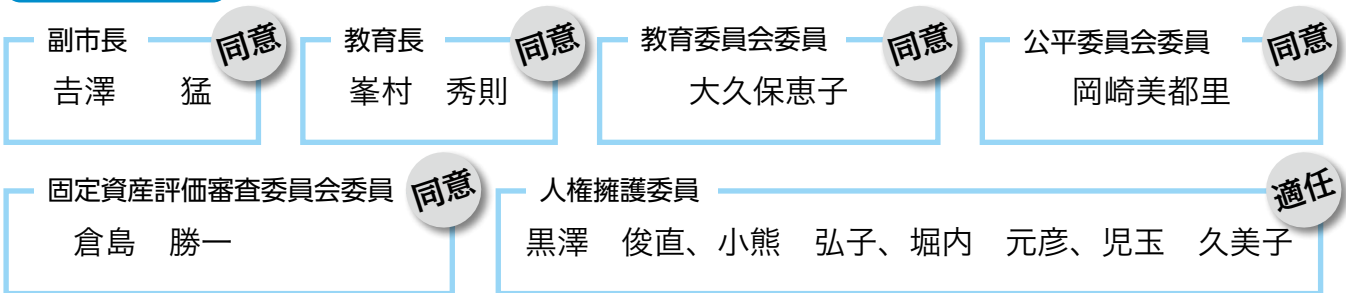
可決

事業費 4億5,927万円

事業内容 予防接種委託料、駐車場整理委託料など

議案
人事案件
概要

副市長をはじめとする6件の人事案件を
全て同意または適任と決定 (敬称略)



3月定例会 賛否の分かれた議案の賛否

●議案第39号 副市長の選任について

○：賛成 ×：反対 議：議長 (議長は表決に加わりません)

議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	本会議結果	
39	石合 祐太	金井 清一	中村 悠基	松尾 卓	成瀬 拓	金子 和夫	欠員	齊藤 達也	齊藤 加代美	井澤 毅	原 栄一	宮下 省二	飯島 伴典	金沢 広美	古市 順子	小坂井 二郎	松山 賢太郎	土屋 勝浩	林 和明	佐藤 論征	尾島 勝	佐藤 清正	小林 隆利	池田 総一郎	南波 清吾	池上 喜美子	半田 大介	久保田 由夫	渡辺 正博	西沢 逸郎	同意	
	×	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※議員氏名の上の数字は議席番号です。

常任委員会の審査概要

常任委員会名	審査日	審査事項
総務文教委員会	3月5日、8日、18日	条例案2件、予算案4件、事件決議案2件、陳情1件
産業水道委員会	3月9日、10日、18日	条例案2件、予算案9件、事件決議案1件、請願1件
厚生委員会	3月5日、8日、18日、22日	条例案6件、予算案11件、事件決議案1件、報告1件
環境建設委員会	3月9日、10日	条例案2件、予算案6件、請願1件、陳情2件

常任委員会では、算以外の議案の審査を行いました。

厚生委員会

敬老祝金条例中一部改正

問 3カ年かけて見直しを行う理由はどうか。

答 急激な変更による影響を考慮し、段階的に見直しを行うものである。

令和3年度上田市国民健康保険事業特別会計予算

問 国民健康保険の被保険者の減少の要因をどのように捉えているか。また、今後の人口減少を見据えた動きはどうか。

答 出生数の減少に加え、団塊の世代の後期高齢者医療保険への移行が被保険者減少の大きな要因である。また、長野県は医療費水準の格差が大きいことから、令和9年までに二次医療圏単位で保険料水準を統一する方向での検討が進められており、今後統一化の動きは加速していくものと考えている。

環境建設委員会

令和2年度一般会計補正予算第10号

問 わがまち魅力アップ応援事業について、今年度は11団体が事業を取り下げているが、来年度の予定はどうか。

答 わがまち魅力アップ応援事業は、一つの事業につき最長5年間継続することができるため、今年度の事業を取り下げた団体のうち、継続期間が残っている団体は来年度の事業に振り替えることを予定しているが、今年度末で事業の継続期間が満了となる団体は、期間延長の規定がないため、来年度に事業を振り替えることができないことを説明した上で取り下げを決定している。

総務文教委員会

令和2年度一般会計補正予算第10号

問 東部児童クラブ分室の整備に係る経費を計上したとのことだが、放課後児童クラブは空き教室などの既存施設を有効活用するとの方針がある中で、東小学校の校外にある建物を購入したのはなぜか。

答 学校の空き教室を使って整備する方針はあるが、東部児童クラブの場合、校外にある分室等の定員は120人である。このため、校外の定員120人分を空き教室の活用により解消するには40人規模の3教室が必要となり、現状では直ちに空く見込みがないことから、校外にある建物を購入している。

産業水道委員会

令和3年度一般会計補正予算第1号

問 飲食店等事業継続緊急支援事業交付金は、令和2年12月から令和3年2月までの3カ月間の合計売上額が前年同期と比較して50%以上減少した事業者を交付対象としているが、売上減少率50%以上を交付要件とした理由は何か。

答 新型コロナウイルス感染症の影響は、飲食店や小売業、サービス業など、幅広い業種に及んでいることから、限られた財源の中でより多くの業種に対して支援を行うことを目的として、50%以上の売上減少を交付要件として設定したものである。

一般会計予算特別委員会分科会の審査概要

分科会名	審査日
総務文教分科会	3月5日、8日
産業水道分科会	3月9日
厚生分科会	3月5日、8日
環境建設分科会	3月9日、10日

令和3年度一般会計当初予算は、特別委員会を設置し、その中に常任委員会を単位とする分科会を設けて審査を行いました。
「一般会計予算特別委員会」については、2ページもあわせてご覧下さい。

厚生分科会

問 情報コミュニケーション関連事業において、障がい特性に応じた円滑なコミュニケーションを行うため、窓口等で使用するコミュニケーション支援アプリのタブレット端末を導入することだが、どこに何台設置し、どのように活用するのか。

答 端末は、新庁舎移転後、障がい者支援課に1台設置し、試験的に導入を図るものである。音声認識や文字認識、多言語翻訳など多様な機能を有するアプリケーションについては、タブレット端末を所有する課での使用が可能となることから、今後は、一般市民が多く訪れる課等への研修を実施し、有効的に活用を図っていく。

環境建設分科会

問 上田市消防団員等応援事業について、令和3年度から運動施設を追加するが、どのように決定したか。また、現在、実証実験中の地域通貨との連携は検討しているか。

答 消防団員を対象に行った調査において、家族で利用できる施設の追加希望が多かったことを踏まえて検討する中で、応援事業の利用率上昇のために温泉施設以外の施設を追加してはどうかとの意見があったため、運動施設を応援事業の対象施設に追加した。
また、地域通貨との連携は、消防団員の福利厚生につながることを期待できるため前向きに検討していきたい。

総務文教分科会

問 10月に総合収納システムを導入することにより、市税等をキャッシュレス決済で納付できるようになるとのことだが、納付方法ごとの手数料はどうか。

答 税抜きの手数料は、口座振替が10円、金融機関窓口での納付が30円、コンビニエンスストアでの納付と電子マネーによるキャッシュレス決済が54.5円である。また、クレジットカードによる決済にかかる費用は、1万円までが100円、2万円までが200円、3万円までが300円、3万円を超える場合は、1万円増加ごとに100円を加算した額となるが、本人負担となる。

産業水道分科会

問 令和2年度から新規事業として実施している農福連携事業について、令和3年度も引き続き実施するための経費を計上しているが、農業従事者と福祉事業所の連携促進をどのように図っていく考えか。

答 農福連携事業の初年度となる今年度は、JAや専任推進員を通じた農業従事者へのPRと、福祉部と連携した福祉事業所へのPRに努めた結果、複数の連携事業を実施することができた。令和3年度においても、事業の内容について理解を深めていただくためのPRに引き続き努めるとともに、福祉事業所と連携することのできる作業の掘り起こしを行っていく考えである。

23人の議員が市政を問う

3月定例会一般質問要旨

新型コロナウイルス感染症対策として、質問時間を通常より10分間短縮して、一般質問を実施しました。

答弁者名は以下のとおり省略して記載しています。

市長…市長	教育長…教育長
政策研究…政策研究センター長	政策企画…政策企画部長
総務…総務部長	財政…財政部長
生活環境…生活環境部長	福祉…福祉部長
健康こども…健康こども未来部長	商工観光…商工観光部長
農林…農林部長	都市建設…都市建設部長
消防…消防部長	丸子センター…丸子地域自治センター長
真田センター…真田地域自治センター長	教育次長…教育次長

掲載記事は、質問議員本人が作成しており、質問全体の一部を要約したものです。質問全体の内容については、会議録に掲載しています。会議録は、議会事務局、市内図書館、公民館および上田市議会ホームページからご覧いただけます。なお、一般質問の様子は上田ケーブルビジョンおよび丸子テレビ放送のご協力により、生放送および録画放送を行っています。

注目!!

令和3年3月定例会が現在の議場で行う最後の定例会となりました。

昭和42年9月から53年間の長きにわたって現在の議場で本会議を開催してきましたが、新庁舎建設に伴い新たな議場が完成することから、令和3年3月定例会が本議場での最後の定例

会となりました。

また、開会日の2月19日には、この歴史ある議場において、未来に向けた宣言である「上田市気候非常事態宣言」が、土屋市長により表明されました。



新型コロナウイルスワクチン接種

代表質問 林 和明 (新生会)

問 ワクチン接種の副反応への対応はどうか。

答 (健康こども) ワクチンの副反応については極めてまれな場合としつつ、接種後すぐに現れる可能性のある症状としてじんま疹等の皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急に起こるアナフィラキシーショックなどが挙げられている。接種会場ではこのような症状が現れないか確認するため、接種後すぐに帰るのではなく、15分から30分程度様子を見ていただき、保健師等のスタッフが経過観察を行う予定である。また、仮に症状が現れた場合についても、すぐに現場の医師が対応可能となるよう、接種会場に必要な医薬品等を準備する。なお国においては、予防接種健康被害救済制度が設けられており、予防接種によって健康被害

が生じ、医療機関での治療が必要となったり障害が残ったりした場合には、予防接種法に基づく医療費や障害年金の給付等の救済が受けられることとなっている。

問 ワクチン接種に当たり、人員体制の構築をはじめとして、どのように対応していく考えか。

答 (市長) 情報が少ないことなどから、不安を感じる方がいることも承知している。国からの正しい情報を速やかにお伝えし、安心して接種いただけるよう体制の構築に向け取り組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症対策室にワクチン接種担当を新たに組織し体制を整えたところであり、接種会場でも多くのスタッフが必要なことから、組織を超えた人員体制で臨むよう指示をしたところである。

●その他の質問項目

1. 令和3年度当初予算
2. 政策研究センター
3. 資源循環型施設

副反応…予防接種後に起こる好ましくない変化(例:発熱)のこと。



土屋市長事業拠点再構築の効果

代表質問 宮下 省二 (社志会)

問 長野大学が市民と約束した中期6カ年計画で、学部学科再編等が遅れている。市職員の増員派遣を進め、改革を促進する考えはあるか。

答 (政策企画) 平成30年度1名、令和元年度2名、令和2年度4名を派遣しているが、今後設置者として理工系学部新設等大学改革に積極的に関わり、派遣職員の増員についても必要性などを検討し対応していく。

問 資源循環型施設建設に必要な環境影響評価の業務委託契約が締結され、今後地域振興策を具体的に協議する組織が必要だが、どうか。

答 (市長) これまで話し合いを重ねてきた対策連絡会との協議を基本に、市民全体の利益につながる地域振興策の展開につなげたい。

問 市長は上田市空家等対策計画を策定したが、危険空家の最上位に位置づけられる家屋の状

況と倒壊した場合の対応はどうか。

答 (都市建設) 老朽化が最も進んでいるCランクの空き家は、平成28年度98棟だったが、本年2月末時点では52棟まで減少している。市では倒壊等を未然に防ぐため、補助金の活用等を含め積極的に取り組んでいく。

教育行政

問 市長は義務教育関係者から教育長を登用し、任期3年を終了するが、受け止めはどうか。

答 (市長) 峯村教育長は、常に現場の意見に耳を傾けながら必要な施策に果敢に取り組んでおり、大変ご尽力をいただき感謝している。

問 令和5年度以降、休日の中学校部活動を段階的に地域へ移行するとの方針を国が示したが、取り組み状況はどうか。

答 (教育長) 第三中学校と第四中学校をモデル校として取り組みを進めており、今後市内全域で移行が進められるよう努めていく。



スマートシティ化推進計画

代表質問 松尾 卓 (公明党)

問 鍵となる官民連携の促進や先進的な取り組みを導入するため、国の4府省が連携した「スマートシティ官民連携プラットフォーム」に参加すべきと考えるが、見解はどうか。

答 (政策研究) 全国的な協議組織への参加は非常に有効であり、まずはオブザーバーとしての参加を検討する。

地域公共交通計画

問 国が新たに策定した地域公共交通計画の特徴はどうか。今後の市の取り組み方針はどうか。

答 (都市建設) 本計画では従来の公共交通に加え、自家用旅客有償輸送や福祉輸送など多様な地域輸送資源が位置づけられる。将来的には国のバス運行費補助金が本計画と連動するため、定量的な目標設定が必要となる。

市の計画策定に当たっては、利便性の向上と運行効率化の両面からバス路線の再編について方向づけをしていく必要がある。各地域の課題への対応は、地域住民や交通事業者、行政が一体となり、地域特性や住民ニーズを捉えながら計画策定と並行して検討していく。

小中学校の通学補助制度

問 市内統一の補助要綱の検討状況はどうか。

答 (教育次長) 令和4年度の予算編成に向けて全市的に事業や地域間の不均衡を統一していく方向であるため、令和3年度中に通学費補助について再度見直しを行い、検討していく。

●その他の質問項目

1. 令和3年度予算編成
2. 新型コロナウイルス感染症の影響による市税等の支払猶予と減免の状況など
3. コロナ禍から命と生活を守るワクチン接種と支援



新型コロナウイルス感染症対策

代表質問 古市 順子 (日本共産党)

問 地方創生臨時交付金を活用して、菅平をはじめ市内の宿泊業者へ給付型支援を早急を実施すべきではないか。

答 (真田センター) 売上減少事業者に一定額の直接支援を行うとともに、宿泊事業者に対しては、キャンセル数に応じた直接支援を実施したいと考えている。

問 公共交通事業者も大変厳しい経営状況だが、市としてどのような支援を検討しているか。

答 (都市建設) 公共交通を維持するための支援策を検討中である。また、市民の利用促進や観光による需要喚起の視点も含めた支援の在り方についても検討を進めていく。

問 日本共産党が行った生活保護の扶養照会に関する国会質問に対し、厚生労働大臣は「義務ではない」と答えたが、市の現状はどうか。

答 (福祉) 申請者からの聞き取りに基づき、交流断絶など個別の状況を慎重に検討した上で、扶養照会が適当でない場合は実施していない。安否確認等精神的な援助の確認も必要であり、今後も寄り添った対応を心がけ、実施要領等に基づき正確かつ公平に対応していく。

今年度補正予算及び来年度当初予算等

問 新型コロナウイルスの影響下において、優先すべき事業の積み上げと、既存事業の見直しを総合的に進めるべきだが、見解はどうか。

答 (財政) 各課1事業の見直しの取り組みを検討することとし、各課で新たな手法や発想が研究され見直しが図られたものと考えている。事業の優先度を精査し、既存事業の縮減や制度の見直しを一層推進していく。

●その他の質問項目

1. 水道事業
2. 令和元年東日本台風災害



ゼロカーボンシティ上田 実現に向けた環境政策

代表質問 松山賢太郎 (仁政会)

問 上田市内のCO2排出量や、地域特性を生かした政策はどのように検討しているか。

答 (生活環境) 3月議会冒頭に市長が上田市気候非常事態宣言及び、2050ゼロカーボンシティを表明したところであり、太陽光発電や太陽熱利用システムの導入支援を行いながら、CO2排出量を2013年度の123万3千トンから、2030年度では30%削減を目指して取り組みを強化していく。

問 既存の公共施設や公用車の見直しはどうか。

答 (生活環境) 実行計画に基づき、施設の改築や改修に合わせた省エネ設備導入や照明のLED化などの推進を図っている。また、今後はハイブリッド車や電気自動車を積極的に導入するよう検討していく。

問 森林整備を活用したCO2排出削減政策は。

答 (生活環境) 森林整備は植林から間伐等により樹木を育ててCO2の吸収を促進するとともに、適材適所で木材や燃料で使用するというバランスの取れた状態を目指して、森林が良好な環境に保てるよう維持管理の推進を図っていく考えである。

問 生ごみの抑制と再資源化への取り組みは。

答 (生活環境) 3Rの徹底や、生ごみを燃やせずに農業分野での利用を推進する仕組みづくりを目指している。生ごみは自己処理を基本としつつ、自己処理できない地域には分別収集を行い、資源として利用する計画である。分別収集は段階的な実施により、年間650トンから1,200トン程度を見込んでいる。生ごみの資源化施設は、場所の選定やコストと効果のバランスを見定めつつ、最適な形態などを慎重に検討し、市民の理解と協力をいただき速やかに事業化できるよう努めていく。



コロナ禍における 首都圏からの企業誘致

代表質問 池田 総一郎（上志の風）

問 大都市圏から地方への移転を検討する企業が
増加する中、こうした企業に対して誘致を働
きかける考えはどうか。

答（商工観光）令和3年度はサテライトオフィス
開設事業補助金について、企業が開設するサ
テライトオフィスの支援に加え、地方への新
たな人の流れに対応したコワーキングスペー
スやシェアオフィスなど、働く場を整備する
事業も対象となるよう拡充していく。今後も、
コロナ禍の社会の変化を迅速に捉え、首都圏
に近いという地理的優位性を生かしながら、
空き家や空き店舗の活用など、多様かつ柔軟
な企業誘致に民と官の連携と、部局横断的な
体制でさらに取り組んでいく考えである。

上田市の地球温暖化対策

問 市は今定例会で「気候非常事態宣言」を行っ
たが、地球温暖化ガス排出削減に向けた施策
をどのように考えているか。

答（生活環境）資源循環型施設建設の基本方針では、
ごみ焼却に伴って発生した熱エネルギーを回収
し、熱利用や発電などの有効活用を検討するこ
ととしている。また、可燃ごみに多く含まれる
生ごみをできるだけ焼却処理せずに、資源利用
を進めていく考えである。新年度当初予算にお
いては、中小企業者を対象に10KWを上限と
して太陽光発電システムの導入費用に対する補
助金や、太陽光発電システムに接続する蓄電設
備に対する補助金を計上している。さらに、電
気自動車の普及が進むことが予想されることか
ら、公共施設の駐車場等への充電設備の設置に
ついては、需要状況を考慮し、他市の設置状況
等を参考にしながら検討していく考えである。

本会議を傍聴されたみなさんの声

傍聴者の
声

～こんなご感想・ご意見をいただきました～

3月定例会本会議の傍聴者数は延べ33人でした。

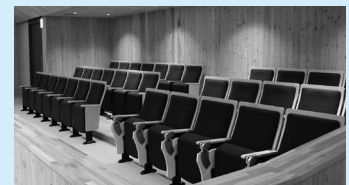
傍聴された皆さんから寄せられた、ご感想やご意見の一部を紹介します。

- どういった形で質疑が行われているか、よくわかった。(30代・男性)
- 現在の庁舎での最後の一般質問を傍聴しました。新しい庁舎で傍聴のしやすさなどが
どのように変化するか楽しみにしています。(30代・女性)
- 活発な議論をお願いしたい。(70代・男性)

新議場で議会を傍聴しませんか

議 会では、皆さんの身近な問題や上田市の予算や政策など、
議 さまざまな事柄について、活発な議論が交わされています。

- | | |
|--------------------|---|
| Q 傍聴ができる方は？ | A どなたでも議会の傍聴ができます。 |
| Q 事前の手続きは？ | A 市役所新庁舎5階の議会事務局で受付をして傍聴券を受け取ってください。 |
| Q 予約は必要？ | A 必要ありません。(大人数で傍聴にお越しの際は事前にご相談ください。) |



新議場傍聴席

6月定例会は **6月7日** 開会予定です。

日程が決まりましたら、6月上旬に
市議会ホームページに掲載します。





近代化遺産の保全と活用

佐藤 清正 (社志会)

問 近代化遺産の位置づけと取り組みはどうか。

答 (教育次長) 日本の近代化に貢献した建造物で、地域の特色ある資源と位置づけている。後期まちづくり計画では、国の有形文化財登録を目指して複数の調査等を計画している。

問 旧丸子カネボウ工場の食堂棟や需用品倉庫の学術的調査をする考えはあるか。

答 (教育次長) 丸子地域の養蚕や製糸業の繁栄を伝える貴重な資料であり、詳細な調査を行

い、保存活用に向けた方策を検討する。

問 絹糸紡績資料館の保全活用の考えはどうか。

答 (市長) 所有者から閉館したいとの意向を受け、関係者と建物の保存などについて協議している。収蔵されている絹紡績関係資料は、全国でも第1級の貴重な資料であり、資料館ののこぎり屋根の建物も蚕都の面影を伝える数少ない歴史遺産であると認識している。資料館及び資料の活用と保全の方策について、引き続き関係者と協議を行っていく。

●その他の質問項目

1. 上田市立産婦人科病院のあり方



第三次上田市スポーツ推進計画

金子 和夫 (仁政会)

問 中学生期の部活動の在り方をどう考えるか。

答 (教育長) 部活動の延長として行われてきた社会体育活動は、活動の過熱化や長時間の活動が生徒に与える負担等が問題になっており、活動時間の適正化に努めるよう周知している。近年、部活動はトップアスリート育成の場では無くなってきており、競技者を育てる場は民間スポーツクラブなどが受皿となるものと考えている。部活動の地域への移行な

ど、より地域との連携が必要と考える。

問 市長が考える今後10年間のスポーツ行政を積極的に実現性、実効性を高めるために、スポーツ行政の所管を教育委員会から市長部局に移すべきと考えるが、見解はどうか。

答 (市長) 施設改修や国体開催等に向けた体制構築などの課題に対応する組織体制とするため教育委員会とも協議を重ねながら引き続き力強く検討していく。スポーツが持つ多様な価値をまちづくりに活かしていく考えである。

●その他の質問項目

1. キリンググループとの包括連携協定の進捗状況



大気汚染防止法改正

佐藤 論征 (新生会)

問 令和3年4月から大気汚染防止法が改正され、建築物等の解体工事においてアスベストの有無の事前調査が義務となる。市有建築物において、正確な改修改築計画策定のために事前調査を行う必要があると考えるが、どうか。

答 (都市建設) 調査方法が法定化されたことや、発注者として施工者への配慮義務が定められたことを踏まえ、事前調査をより早い段階で行えるよう取り組んでいく考えである。

問 市有建築物の改修・改築工事の途中でアスベストが発見され、処理費用が追加されることは大変大きな問題であるが、今回の法改正により解消されるのか。

答 (都市建設) 規制が強化されたことを踏まえ、工事発注前の設計段階でアスベストの有無について発注者としての事前調査をより慎重に行い、必要な除去工事について設計に反映させることによって、追加費用が発生しないよう努める。

●その他の質問項目

1. 消防団と地域防災力の充実強化



コロナ禍における事業者支援

西沢 逸郎 (仁政会)

問 コロナ禍に伴う消費の抑制や給付金の支給によって、家計の現預金は平時より25兆円増加している。これらのお金を地域内での消費に向かわせることによって、困窮している事業者の支援につなげ、市内事業者を育成していくことが喫緊の課題と考えるが、市の見解はどうか。

答 (商工観光) 売り上げが大きく減少している事業者への支援として、スマートフォン決済

事業者と連携したポイント還元キャンペーンである消費喚起応援事業を2回実施してきた。昨年8月から9月に実施した第1弾では、約900店舗で利用され、消費額は約9億円となった。第2弾では、約1,100店舗で約15億円の消費効果があった。引き続き、感染予防と経済活動の両立で経済の地域内循環が図られるよう、関係機関とも連携を強化しながら事業者支援に取り組んでいく。

●その他の質問項目

1. 次代を担う人づくり
2. 在宅医療・介護体制の整備



農地への太陽光パネルの設置

中村 悠基 (上志の風)

問 農地へ太陽光パネルを設置した場合、収穫量が設置前と比較して2割以上減っていないか確認する必要があることから、生産者には収穫量の報告義務があるが、報告内容が適切であるか確認しているか。

答 (農林) JAの営農指導員等、知見を有する者の確認を受け、的確に把握している。

問 営農型太陽光発電いわゆるソーラーシェアリングについては、全国の農業委員会から多く

の問題点が指摘されているが、上田市はどのように考えているか。

答 (農林) 農業生産と発電との共有により、農家の所得向上が期待できる取り組みだが、太陽光パネルを設置することでその下の農地に日陰が生じることとなり、いかに生産量を確保しつつ、営農を継続していくかが課題であると考えている。

ソーラーシェアリングが営農の適切な継続と発電が両立した取り組みとなるよう、国の規定に基づく指導を適切に継続していきたい。



日本遺産

金井 清一 (社志会)

問 令和2年度の取り組み状況はどうか。

答 (政策企画) 観光拠点整備に向けた事業としては、市民に認定されたストーリーや構成文化財を広く知っていただくための案内看板の整備や、誘客戦略に向けて各種施策に対するウェブ調査分析、外国人誘客を見据えた英語版の映像制作など、文化庁の補助メニューを最大限活用し、事業推進を図っている。

問 インバウンドを含めた誘客PRと受入体制の

検討状況はどうか。

答 (政策企画) 観光拠点となる(仮称)ビジターセンターの設置を検討している他、周遊観光ルートの開発などを行う考えである。また、外国人観光客の受け入れ体制整備については、文化庁の補助メニューを活用して多言語パンフレットの作成などを検討している。新型コロナウイルス感染症の収束後には、国内外から多くの観光客を受け入れることができるよう万全の体制を構築していく考えである。

●その他の質問項目

1. 住民自治組織と自治会



千曲川左岸地域における幹線道路網整備

小林 隆利 (社志会)

問 限られた財源の中で、どのように事業を選択していくか。特に千曲川左岸地域では、どの路線を優先的に整備していくか。

答 (都市建設) 基本的な考えとしては、車両や歩行者の交通量が多く、渋滞解消や安全対策に効果があること、経済活動に寄与すること、防災上有効な輸送路となること、道路網ネットワークとして機能すること、補助事業などの財源措置があること等が選択の基準と

なっている。道路整備に係る地元の同意も重要な判断材料である。現在、左岸地域で優先的に進めている、または計画中の道路については、県事業では、赤坂交差点から宮島交差点までの国道143号と、主要地方道別所丸子線柳沢バイパスから二ツ木峠までの鈴子バイパス、丸子地域の国道254号のバイパスである。

市道では、塩田地域と川西地域を結ぶ中野小泉線バイパス、富士山下組地区の市道久保峠線の狭隘区間の拡幅工事を行っている。

●その他の質問項目

1. 農林業振興



資源循環型施設建設

渡辺 正博 (日本共産党)

問 資源循環型施設建設対策連絡会が資源循環型施設の建設に同意するには、ごみの減量化や生ごみリサイクル施設の建設、地域課題の解決などさまざまな問題の解決を条件としているが、見解はどうか。また、生ごみリサイクル施設は公設を前提に検討しているか。

答 (生活環境) 地元の皆さまから建設同意を得るには、さまざまな課題に対し総合的に判断していただく必要があり、引き続き丁寧な話

し合いを続けるとともに、資源循環型施設の建設は、全ての市民自らの課題であると認識していただけるよう、取り組んでいく。また、市が策定した生ごみリサイクル推進プランでは、生ごみ資源化施設について「民間施設や既存施設の活用、市有地での新設などさまざまに検討し、できるだけ速やかに事業化を図る」としている。現在、公設、民設などさまざまな面から検討しており、関係者の御理解と御協力をいただきながら取り組んでいく。

●その他の質問項目

1. 日本遺産を生かしたまちづくり



上田市のビジョン

斉藤 達也 (新生会)

問 土屋市長が掲げる上田市のビジョンは何か。

答 (市長) 上田市のビジョンとして常に念頭に置いているのは、「市民力と共感力で、『つながり』と『ありがとう』のまちをつくる、そしてまた、『一人一人にあたたかい陽のあたるまち』をつくる」ということである。上田市に暮らす全ての市民が、誰も取り残されることなく幸せに暮らせるまちにしたい、太陽の光が分け隔てなく地上に降り注ぐように、

市民一人一人に陽があたる暖かいまちにしたい。そして、この美しい地球を、上田を次の世代につなげ、未来の子どもたちからも感謝されるまちを築き上げたい。この思いが私のまちづくりの原点である。そのようなまちを目指し、全力で職務を遂行していく。

●その他の質問項目

1. 社会増減にかかる人口増加策
2. コロナ禍における飲食店等への支援



マイナンバーカードの普及啓発

齊藤 加代美 (新生会)

問 マイナンバーカードが普及しない要因をどのように捉えているか。

答 (総務) 要因の一つとしては、個人情報の漏えいなど安全性に対する懸念があると考えられるが、マイナンバーカード自体には税や年金などの個人情報は記録されておらず、高いセキュリティが確保されている。また、もう一つの要因としては、必要性やメリットが感じられないということが考えられる。

問 マイナンバーカードの普及に向けた広報はどのように行う考えか。

答 (総務) マイナンバーカードのメリットが感じられるような独自利用など、利活用の促進を図るとともに、カードの利点や安全性についても正確な情報を繰り返し「広報うえだ」やSNSなどを使って周知することで、取得促進につなげていく考えである。

●その他の質問項目

1. 市長のリーダーシップ
2. 温泉を活用した健康づくり
3. 国道 254 号沿線における「道の駅」設置検討



上田市消防団の今後の在り方

井澤 毅 (新生会)

問 「上田市消防団の将来のあり方検討委員会」発足の経緯と目的は何か。

答 (消防) 消防団員数の減少が止まらない中、地域防災力を確保するために、各分団の適正団員数案の算定や分団再編、消防団の組織体制の検討を行うため、令和元年度に発足した。

問 上田市が目指す適正な消防力とは何か。また、消防団の再編に伴い消防力は維持できるか。常備消防の見直しは行うのか。

答 (消防) 国が示す普通交付税の算定基準では、上田市の人口に換算すると、団員数は約 2.3 倍、分団数は 1.2 倍、消防車両は 4.3 倍であり、数字上は国の基準を満たしている。また、国が示す消防力の整備指針などを踏まえ、適正な団員数等の原案を試算しており、消防団の消防力は維持できると考えている。常備消防の見直しは、平成 30 年度から常備消防の基本構想を検討するためにワーキンググループを組織し、検討を行っている。

●その他の質問項目

1. 上田市消防団の現状と課題

市議会レポート

タブレット端末の操作研修会を実施

「議事の効率化」や「ペーパーレスの推進」、「情報共有の迅速化」などを目的として、タブレット端末の導入を行ったことから、基本的な操作やペーパーレス会議システムの利用方法などについて研修を実施しました。

今後は、6月定例会及び9月定例会で試験運用を行い、課題などについて検証を重ねながら、12月定例会から本格運用をする予定です。



タブレット本体



研修の様子①



研修の様子②



研修の様子③



上田地域検査センターの PCR検査の現状

原 栄一 (社志会)

問 上田地域検査センターでの検査数の推移と、陽性判定者の状況はどうか。

答 (健康こども) 上田地域検査センターは、上田圏域の新型コロナウイルス感染症の検査体制の強化を目的に、新型コロナウイルス感染症の疑いのある方がPCR検査の検体採取を行う施設として、また自己負担を伴わない行政検査を受けられる機関として、昨年5月26日に県からの委託

を受け開所した。同センターでの検査数の推移は、3月1日現在で、合計1,108件となっており、特に検査数の多い月としては、8月145件、9月147件、12月244件、令和3年1月273件となっている。このうち、43件について陽性者が確認されている。また、上田圏域全体の検査数は2月25日現在で合計12,409人となっている。陽性判定者の状況については、症状や療養先などについて県及び上田保健所が把握しており、適切に対応されていると承知している。

●その他の質問項目

1. 災害復旧・国土強靱化



子どもの人権を守る 虐待防止、自殺対策

池上 喜美子 (公明党)

問 コロナ禍の中、DVや虐待、自殺の件数が増加している。児童虐待の発生予防や早期発見、早期対応を行う中核機関としての「子ども家庭総合支援拠点」の設置状況と自殺予防施策はどうか。

答 (健康こども) 支援拠点の早期設置のため、担当部署に段階的に専門職を増員し、令和2年4月には子ども家庭支援員と虐待対応専門員合わせて4人の有資格者を配置した。コ

ナ禍で支援が必要な家庭へは個別訪問や相談対応、食料配布などを行った。また、迅速な情報把握などを目的として、新たに児童家庭相談システムも導入する。自殺者数は若年層を中心に大変深刻な事態となっており、昨年8月には全世帯に自殺予防のリーフレットを配布し、相談窓口等のお知らせをした。「こころの体温計」も含めた情報発信の在り方等を検討し、自殺予防の取り組みを進める。

●その他の質問項目

1. 上田市自治基本条例の中間提言
2. 上田市発達相談センター



コロナ禍での雇用の維持と創出

金沢 広美 (公明党)

問 「緊急雇用安定助成金」に関する市ホームページの情報を充実してはどうか。また、相談窓口の体制強化を図る考えはあるか。

答 (商工観光) 市ホームページでは申請の手引きや動画を掲載するなど、活用支援を実施しているが、助成金の対象外と思い込んでいる事業主もいることから、より一層アクセスしやすい工夫をして、丁寧な情報提供に心がけていく考えである。また相談体制については、

今後の相談状況に応じて、人員の増強など体制の充実を検討していく。

問 昨年12月に「労働者協同組合法」が可決成立したが、市はどのような期待をしているか。

答 (商工観光) 若者や高齢者、障がい者など、多様な人材がお互いを尊重しながら、生きがいを持って労働できると考えられ、住民自ら出資して労働協同組合に参加し、地域の課題解決に取り組むことで、より生活しやすい地域の創出の可能性のあるものと期待している。

●その他の質問項目

1. クラインガルテン事業



コロナ禍を乗り切るため

飯島 伴典 (上志の風)

問 公衆衛生上の災害とも言えるコロナ禍についての見解はどうか。

答 (市長) 飲食業や観光業を中心に深刻な影響を受けており、極めて強い危機感を持っている。まさに世界レベルの災害と実感している。

問 復興に向けた予算確保に対する考えはどうか。

答 (市長) 地方創生臨時交付金のさらなる増額を国に求めていく。また、県とは情報共有など連携を一層進め、財政調整基金等の活用な

ど柔軟かつ機動的な対応を切れ目なく行い、地域経済の下支えや医療提供体制の確保に向けて、予算や財源の確保を図っていく。

答 (財政) 財政調整基金等の活用に加え、新型コロナウイルス感染症に特化した国の地方創生臨時交付金のさらなる増額を国に働きかけるなど、財源確保に向けて取り組んでいく。

●その他の質問項目

1. 上田市を中心とする医療体制の強化策
2. ワクチン接種
3. がん支援
4. 包括的な政策展開



有機農業の振興及び学校給食への有機食材の導入検討

石合 祐太 (新生会)

問 県内をはじめ全国の自治体において、学校給食に有機食材を導入する動きがあるが、どのように受け止めているか。

答 (教育長) 有機食材は化学物質の影響が少なく、安心感や魅力がある。児童生徒には生産者の顔が見え、郷土の農業に関心を深めることで生産者への感謝の気持ちを育むことも期待できる。他自治体の状況を研究し、給食費とのバランスやメリット、デメリットを整理

し、農林部と連携しながら検討していきたい。

問 有機食材を学校給食へ導入することは多くの効果があると思うが、市長の見解はどうか。

答 (市長) 現在は有機農産物の生産者が少ないことや、市内で栽培される農産物のうち、有機農産物の割合が極めて低いことなどから、現時点では難しいものと考えているが、将来的に食材として活用するためには、有機農業を志す農業者や生産団体を確保、育成し、有機農産物の生産体制を強化する必要もある。これは食育の観点からも重要なことと認識している。



まるこ保育園と箱畳第二期工業団地造成

久保田 由夫 (日本共産党)

問 まるこ保育園の開園により、閉園となる保育園の跡地利用の検討状況はどうか。

答 (健康こども) 保育園整備には公共施設等適正管理推進事業債を活用しており、統合前の施設は廃止する必要がある。また、公共施設マネジメント基本方針では、施設を廃止し、跡地は原則として売却することとなっている。このため、みなみ保育園は令和3年度に解体し、東内保育園は令和6年度以降に解体

する予定である。跡地利用については、地元の方々と協議を行っていく考えである。

問 合併後初めて新規の工業団地造成に踏み切った箱畳第二期工業団地造成事業の進捗状況と、申し込み企業との協議状況はどうか。

答 (丸子センター) 箱畳第二期工業団地造成事業は開発面積約5.8haで、平成30年10月に開発許可を取得し、令和4年3月末の完成を目標に進めている。申し込み企業とは、購入の意思に変わりはないことを確認している。

●その他の質問項目

1. デジタル化社会の光と影

みなさまからの請願・陳情 5 件を審査

請願

請願番号	件名	提出者	審査結果
請願第1号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	上小地区労働組合連合 議長 森嶋光 氏 ほか1人 (紹介議員) 渡辺正博議員、石合祐太議員	不採択
請願第2号	「日本政府に核兵器禁止条約への参加・調印・批准を求める意見書」の提出に関する請願	原水爆禁止上小地区協議会 代表 中沢盛雄 氏 ほか9人 (紹介議員) 渡辺正博議員、石合祐太議員	不採択

● 請願第1号 ●

委員会審査結果

付託委員会

産業水道委員会

審査結果

賛成少数により、「不採択すべきもの」と決定

本会議審議経過

賛成討論 (渡辺議員)	<ul style="list-style-type: none"> 生計費に地域間格差は無いということが、さまざまな調査で明らかになっている。 日本の最低賃金は国際的に見て低水準であり、エッセンシャルワーカーなどが低賃金となっている。 最低賃金引き上げのためには、中小企業支援策の抜本的強化が必要であることから、賛成である。
反対討論 (金子議員)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響によって、多くの企業が経営の危機に直面していることから、最低賃金を1,500円にすることは実現不可能である。 全国一律の最低賃金制度の導入は、雇用のバランスの崩壊につながることから、反対である。

● 請願第2号 ●

委員会審査結果

付託委員会

環境建設委員会

審査結果

賛成少数により、「不採択すべきもの」と決定

本会議審議経過

賛成討論 (成瀬議員)	<ul style="list-style-type: none"> 世界唯一の戦争被爆国として条約を批准し、立場を明確にすることで、核保有国と非保有国の橋渡しとなり得るものであり、核兵器廃絶への力となることが国際社会に求められている。 上田市は「非核平和都市宣言」に基づいて核兵器廃絶に向けた取り組みを行っており、こうした取り組みは本請願の趣旨にも合致していることから、賛成である。
反対討論 (中村議員)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の周辺諸国では軍事的な動きが活発である中、日米安全保障条約の枠組みにより軍事的バランスが保たれている。仮に条約を批准した場合、アメリカ合衆国との関係に影響を及ぼし、日本のみならず極東地域の安全保障を揺るがしかねないことから、反対である。

○：賛成 ×：反対 議：議長（議長は表決に加わりません。）

請願番号	石合祐太	金井清一	中村悠基	松尾卓	成瀬拓	金子和夫	斉藤達也	齊藤加代美	井澤毅	原栄一	宮下省二	飯島伴典	金沢広美	古市順子	小坂井二郎	松山賢太郎	土屋勝浩	林和明	佐藤論征	尾島勝	佐藤清正	小林隆利	池田総一郎	南波清吾	池上喜美子	半田大介	久保田由夫	渡辺正博	西沢逸郎
第1号	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
第2号	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×

陳情

陳情番号	件名	提出者	審査結果
陳情第1号	国土交通省告示第98号の履行に関する陳情	一般社団法人長野県建築士事務所 協会会長 土屋長命 氏 ほか1人	採択
陳情第2号	最低制限価格の設定に関する陳情	一般社団法人長野県建築士事務所 協会会長 土屋長命 氏 ほか1人	継続審査
陳情第3号	耐震診断・耐震改修に関する陳情	一般社団法人長野県建築士事務所 協会会長 土屋長命 氏 ほか1人	採択

市議会 レポート

「政策討論会」を開催

【議題】

「上田市健康づくり推進条例（仮称）」について

【提出者】

健康づくり推進特別委員会

【討論内容（主な内容を抜粋）】

健康づくり推進特別委員会で作成した条例案に対して、以下を論点として討議を行いました。



- ①市民の皆さんにとって分かりやすい条文とするためにはどのような文言や表現が必要であるか。
- ②健康づくりを進める上での市や議会、関係機関の役割はどうか。

グループに分かれて討議

活発な議論を行うため、全議員を4つのグループに分けて討議を行いました。



意見を付箋に記入

お互いの意見を把握しやすくするため、意見は付箋に記入しました。



政策討論会で出された意見を踏まえつつ、「健康づくり推進特別委員会」において条例制定に向けた検討を引き続き行ってまいります。



第3回市議会だより表紙デザインコンテスト

結果発表

「第3回市議会だより表紙デザインコンテスト」には、38作品のご応募をいただきました。作品をご応募いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

素晴らしい作品が多く選考は難航を極めましたが、次の4作品が受賞いたしました。

入賞作品は、「市議会だより8月16日号(第84号)」から順次掲載いたしますので、ご期待ください。

表彰名	作品タイトル	撮影場所	氏名	掲載予定号
大賞	懐かしい道	上野地域(富士見台)	中田 耕市さん	令和3年8月16日号
議長賞	閃光	前山寺三重塔	仙田 晴久さん	令和4年5月16日号
広報広聴委員長賞	真田石	上田城	坂口 満明さん	令和3年11月16日号
特別賞	氷灯ろう夢まつり	北向観音	堀 淳志さん	令和4年2月16日号

大賞



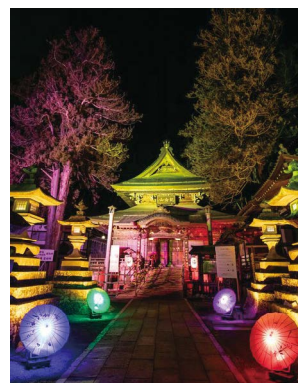
議長賞



広報広聴委員長賞



特別賞



手話を学ぼう

市議会だよりでは、「いま覚えてほしい手話」をお伝えしています。

今回のテーマは

「ありがとう」
「どういたしまして」

“長野県ホームページ”
「手話辞典」



「ありがとう」



左手の甲から右手を縦に垂直に上げます。

「どういたしまして」



右手の小指の指先を顎に2回当てます。

表紙デザインコンテスト受賞者の声

柳沢俊介さん

このたびは、上田市議会だより表紙デザインコンテストの表彰をいただきありがとうございます。写真は生島足島神社にて、娘とお参りした時のものです。大病もなくこの5月で3歳になりました。今後も皆、健やかに過ごしていければと願っています。